

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産のうち、償却資産については定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金

貸倒懸念債権について回収の可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(3) 消費税等の会計処理

免税事業者のため、税込方式と同様の処理となっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,339,209	971	29,000,000	24,340,180
小計	53,339,209	971	29,000,000	24,340,180
特定資産				
退職給付引当資産	4,896,941	210,366	5,107,307	0
小計	4,896,941	220,916	5,117,857	0
合計	58,236,150	221,887	34,117,857	24,340,180

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	24,340,180	0	24,340,180	—
小計	24,340,180	0	24,340,180	—
合計	24,340,180	0	24,340,180	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
ソフトウェア	259,200	259,199	1
合計	259,200	259,199	1

以上